

都立晴海総合高等学校 令和4年度 C3(家庭) 年間授業計画

使用教科書:最新家庭基礎 生活を科学する(教育図書)

使用教材:生活学Navi(実教出版)

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	オリエンテーション 人の一生と青年期 ・青年期の課題	・「家庭基礎」を学ぶにあたって、内容や1年間の授業の進め方、評価方法などを理解する。 ・自立した生活を営むためには、生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定をし、責任をもって行動することが重要であることを理解する。	人の一生を生涯発達の視点 でとらえ、各ライフステージの 特徴と課題について理解して いる(知識・理解 プリント)。	2
	・家族・家庭と 法律	・家族に関する法律、家族が社会制度として存在することの意味などについて関心を持ち理解する。	家族に関する法律について 知り、その必要性和理由を 理解している(知識・理解 プリント)。	2～4

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
5 月	食生活 ・食生活の現状 と課題 ・栄養素と食品	・社会的な問題ともかかわる現代の食生活の現状と課題について理解する。	社会的な問題ともかかわる現代の食生活について理解しようとしている(知識・理解 プリント)。	4～6

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
6 月	・食品の選択と取り扱い ・食中毒と食品の安全	・食品衛生（食品の選択、食中毒など）について関心を持ち、その課題の解決のために具体的な行動につなげられるようになる。	日常用いられる食品の栄養的特質と調理上の性質について、科学的に理解し、行動しようとしている（思考・判断・表現 プリント）。	2～4
	・献立と調理 何をどれだけ食べればよい？	・毎日の食事の重要性を理解し、栄養素の種類と機能、食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすなどをもとに、自分や家族の食生活を見直す方法を考える。	栄養素の種類と機能、青年期と各ライフステージの栄養的な特徴について理解している（思考・判断・表現 プリント）。	2～4
	・糖度実験	・身近な商品（清涼飲料水）の糖度を調べる。消費者として、宣伝に頼らず的確な情報の取捨選択により、良い食生活が送れるような習慣を考えることができる。	・身近な清涼飲料水の糖度をはかり、的確な情報の取捨選択により、良い食生活を送る習慣を考えることができる（思考・判断・表現 発表）。	2

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
7 月	夏休み課題（ホームプロジェクト）について	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて、授業で学習したことをもとに、計画、実践を通して生活を科学的に探究する方法や解決能力を身につける。	・課題を見つけ、解決法を考え、実践、評価する(思考・判断・表現/技能 プリント/発表)。	2～4

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8月				

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
9 月	・環境に配慮した食生活を送ろう	・食と環境の結びつきについて再認識し、環境に配慮した食品の購入、調理、保存ができるようになる。	環境に配慮した食生活について理解しようとしている(思考・判断・表現 プリント)。	2
	住生活 ・暮らしと住まい ・安全で衛生的な 住まい	・一生を見通して、家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択ができる。 ・防犯、防火、耐震などの安全性が高く、日照、採光、換気、遮音などに配慮して健康的に住むことのできる住居について考えることができる。	家族が安全で快適、かつ健康な生活を行う場としての住居について考えている(思考・判断・表現 プリント)。	2

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
10 月	・いろいろな暮らし方 ・住まいと環境	・環境に配慮した住居や、住居と地域社会との関わりについて考えることができる。	住まいの現状や環境に配慮した住宅などについて、レポートなどにまとめたり、発表することができる(思考・判断・表現/技能 プリント/発表)。	2
	子育てを学ぶ ・親の役割 ・子どもの成長のようすと生活	・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解する。	乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解している(知識・理解 プリント)。	2
	・子ども・子育ての環境	・少子化や子どもを取り巻く環境の変化などによるさまざまな問題点について理解する。また、この課題の解決のためには児童福祉の理念が重要であることを認識する。	少子化や子どもを取り巻く環境の変化などによるさまざまな問題点や児童福祉の理念の重要性について理解している(知識・理解 プリント)。	2～4

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
11 月	高齢期の生活 ・ 高齢期の特徴	・ 人の一生を見通す中で高齢期をとらえ、加齢に伴う心身の変化や特徴について理解する。	高齢期の特徴と生活について理解している(知識・理解 プリント)	2
	高齢期の生活 ・ 高齢期の特徴	・ 自分の立場から高齢者や高齢期についての問題点を考え、高齢者の自立生活を支えるための支援方法や高齢者と関わることの重要性を考えることができる。	高齢期になっても、だれでも安心して自立的な生活ができる高齢社会を築くために、地域や社会の果たす役割について考えている(思考・判断・表現 プ	2
	生活を支えるしくみ	・ 社会保障の仕組みを知り、自助、公助、共助により支えあって生きることを認識する。	生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会支援について理解している(知識・理解プリント)。	2
	・ 調理実習 (牛丼、すまし汁)	・ 安全で衛生的、かつ効率よく日常の食事を作ることができる。 ・ 和風だしのとり方やその使い方を理解する。	安全や衛生を考えながら、効率よく調理することができる(関心・意欲・態度／技能実習)。	2

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
12 月	消費生活 ・消費生活の現状と課題 ・自立した消費者 となるために	・消費者としての自覚と責任を理解する。 ・消費者として生活情報を収集する力や、メディア・リテラシーを身につける。	様々な消費者問題について認識し、消費者の権利や責任について理解している(知識・理解 プリント)。	3～7

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	衣生活をつくる ・衣服の機能を考える	・人の生理作用や体温調節と衣服の機能の関りを知り、人体を取り巻く環境に応じ、適切な衣服素材やデザインを選択できる力を身につける。	衣服の機能について、社会慣習への適応と材料の性能や構成との関わりについて認識している(知識・理解 プリント)。	2
	・衣服材料を知る	・衣服素材の種類を知り、織物や編物組織を理解する。衣服素材の性能を理解し、衣生活への興味、関心を深める。	衣服素材の種類を知り、組織、素材の性能を理解している(知識・理解 プリント)。	2

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 月	・衣服計画を立てる	・資源の有効活用の観点から、購入から管理、廃棄までを考えた衣服計画の重要性を考えることができる。	環境に配慮しながら、衣生活を管理する重要性を考えることができる(思考・判断・表現 プリント)。	2～4

	指導内容 【年間授業計画】	家庭基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
3 月	環境に配慮した暮らし ・今の暮らしと環境問題 ・持続可能な社会をめざして	・経済発展や便利で快適な生活を優先してきた結果、環境問題や資源・エネルギー問題が生じていることを知り、自分たちはどう行動するべきか考えることができる。	環境に配慮しながら、衣生活を管理する重要性を考えることができる(思考・判断・表現 プリント)。	3